

## 令和元年度「情報通信月間」総務大臣表彰

1 個人：4件

(敬称略)

氏 名	功績の概要
かわすみ やすひこ 川角 靖彦	国際電気通信連合電気通信開発部門研究委員会副議長等を歴任し、ルーラル地域に対する電気通信の提供に関する研究を30年以上にわたり主導することにより、途上国のデジタルディバイド解消に多大な貢献をした。
チャイチャナ・ミツパン タイ王国 電子取引開発機構 副長官	日ASEANサイバーセキュリティ能力構築センター設立に際し、ASEAN各国との調整に積極的に取り組むなど、我が国と連携し主導的役割を果たすとともに、日ASEAN間におけるサイバーセキュリティ分野の協力関係強化に多大な貢献をした。
はやし こういちろう 林 紘一郎 情報セキュリティ大学院大学 名誉教授	総務省「サイバーセキュリティタスクフォース」の構成員として、「IoTセキュリティ総合対策」のとりまとめに尽力し、また、政府の「サイバーセキュリティ戦略本部」に本部員として参加し、「サイバーセキュリティ戦略」の策定にも多大な貢献をした。
やました とおる 山下 徹 株式会社 NTTデータ シニアアドバイザー	総務省「今後のLアラートの在り方検討会」において座長として議論の取りまとめに尽力するなど、Lアラートの全国的な普及・発展に大きく寄与し、安心・安全に関わる公的情報等の迅速かつ正確な住民への伝達に多大な貢献をした。

## 2 団体：5件

(敬称略)

団体名	功績の概要
一般社団法人 日本民間放送連盟 ラジオ委員会 (委員長：岩崎 正幸) 株式会社 NTTドコモ (代表取締役社長：吉澤 和弘) KDDI 株式会社 (代表取締役社長：高橋 誠) 富士通コネクテッドテクノロジーズ 株式会社 (代表取締役社長：高田 克美) 京セラ 株式会社 (代表取締役社長：谷本 秀夫) 株式会社 radiko (代表取締役社長：青木 貴博)	新たな放送・通信連携サービスとして、また災害時の情報伝達手段として、大きな役割を果たすことが期待される「ハイブリッドラジオ」機能搭載のスマートフォン(「ラジスマ」)の開発及び実用化に多大な貢献をした。
グローバルコミュニケーション開発推進協議会 実用化促進部会 事業化共同推進ワーキンググループ (主査/株式会社 富士通研究所 人工知能研究所 デジタルナレッジPJ 特任研究員：長瀬 友樹)	国立研究開発法人情報通信研究機構で開発された多言語音声翻訳エンジンの商用ライセンス事業に関する募集要件の整理を行うことにより、多言語音声翻訳プラットフォーム等を通じた多言語音声翻訳エンジン活用サービスのビジネス化に多大な貢献をした。
駒ヶ根市 (市長：杉本 幸治)	平成28年度ふるさとテレワーク推進事業等を活用してテレワーク施設を整備し、進出企業との連携によるICTを活用した雇用創出と、総務省のテレワークイベントへの協力を通じて、テレワークの普及促進に多大な貢献をした。
フレキシブルファクトリパートナーアライアンス (会長：アンドレアス・デンゲル)	製造現場で混在する多様な無線システムの安定化を図るための新たな無線通信規格の策定及び国際標準化の取組を推進し、また、国立研究開発法人情報通信研究機構・ドイツ人工知能研究センター間の協力を深化させる等、工場のワイヤレス化の推進及びそのための国際連携の確立に多大な貢献をした。
前橋市 (市長：山本 龍)	高齢者等の交通対策や救急医療等、様々な分野でのマイナンバーカードの先進的な利活用のほか、個人の医療・介護・健康データに係るサービスモデル開発等にも積極的に取り組み、地方でのICT優良モデルの実現に多大な貢献をした。